

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市多摩スポーツセンター	評価対象年度	平成30年度
事業者名	株式会社多摩オールフラッツ	評価者	地域振興課長
指定期間	平成22年12月1日～令和3年3月31日	所管課	多摩区役所 地域振興課

2. 事業実績

利用実績 (単位:人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
	32,914	48,475	35,041	40,628	38,557	44,515	49,278	32,392	29,509	27,313	36,347	42,672	457,640	
収支実績 (単位:千円)	30		予算	決算	差額									
	収入	指定管理委託費	121,590	123,492	1,902									
		利用料金収入	80,596	86,200	5,604									
		事業収入	74,982	79,742	4,760									
		雑収入	10,258	9,599	△ 659									
		収入計	287,426	299,033	11,607									
	支出	管理運営費	180,702	202,062	21,360									
		光熱水費	44,000	43,880	△ 120									
		保険料	1,086	1,048	△ 38									
		その他	14,101	12,043	△ 2,058									
支出計		239,889	259,033	19,144										
サービス向上の取組	<p>◇温水プールの水抜き清掃に合わせ着衣泳体験やプールでの事故を想定した救助講習会を実施しているほか、職員を対象に火災や地震を想定した避難訓練を新たに夕刻に実施したり、不審者対策の防犯訓練・AED使用法などの訓練を実施、救命講習会を定期的に受講するなど、安全・安心な施設の提供と不測の事態に備えている。</p> <p>◇不審者、傷病者など施設内のトラブルを早期発見するために、巡回パトロールで利用者に積極的に声かけ等を行っているが、トイレの巡回頻度を増やすなど安全面の強化に努めている。</p> <p>◇高齢者や障害者向けの教室を増やし、公共スポーツ施設としての誰もがスポーツ・運動に参加できる環境に取り組んでいる。</p> <p>◇室温上昇対策のため、プール更衣室と体育館ロッカーに小型サーキュレーター、大型扇風機を用意していたが、冬場用にヒーターを導入した。また、館内すべてのトイレにシューズのまま履けるスリッパを増やし定期的に新品に交換、エントランスに外出用サンダルを増やすなど、利用環境の向上に取り組んでいる。</p> <p>◇自由提案事業として巡回バスを運行(小田急線生田駅・JR南武線中野島駅の2ルート)、利用者が延べ5,778人となり、利用者の利便性向上に継続して取り組んでいる。</p> <p>◇スポーツ用品については利用者の要望が多い商品や、アイスやお菓子、飲料水などを提供、レインブーツや枕、婦人服などスポーツに関連しない商品も取り揃え提供している。</p>													

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階 (加点割合)	評価点
総合的な運営状況	基本方針	公の施設としての理念を尊重し、社会体育施設としての役割や目的を果しているか。	5	4(0.8)	4
	事業成果	事業実施による成果の測定・検証が適切に行われているか。	5	3(0.6)	3
管理業務の実施状況	(評価の理由)	<p>◇基本方針に基づき、快適な利用環境と公平・平等な利用を確保しながら、子供から高齢者まで、障害を持つ方にも安心して気軽に利用していただけるようサービスの向上に努めているとともに、事業計画に基づいた施設運営がなされている。</p> <p>◇平成30年度の利用者数は457,640人と平成29年度に比べ8,895人減少(前年比98%)となったが、トレーニング利用者は前年比100.5%の増、スポーツデイ利用者は前年比104.8%の増となり、全体的には開館から順調に運営されており、これまでの利用促進に向けた取組の成果として評価する。</p> <p>◇障害者スポーツ大会の水泳会場として、監視員の配置や会場設営等で協力を行った他、開館時から知的障害児のためのプール教室を続け特別事業として月1回知的障害者のための水泳教室では、利用者が102名で昨年度の76名より増加、障害者のプール利用者は5,243人(前年比110.5%)と増加するなど、障害児者の運動機会の拡大に繋げる取組を行っている。</p> <p>◇維持管理・運営業務について、代表企業と運営・維持管理企業が月1回モニタリング定例会を実施。自己評価も併せて行い、業務の確実な実施と品質の維持向上、企業間のコミュニケーションの促進に努めている。</p> <p>◇ご意見箱にいただいた要望等は館内に回答を掲示しモニタリング定例会で共有しているほかアンケートを実施するなど、意見や要望を事業に反映できるよう努めている。</p>			
	維持管理等の再委託	施設利用提供に支障をきたすことの無いよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に行っているか。	5	3(0.6)	3
	休館日・開館時間	安全で適正な管理運営を確立するとともに、利便性や利用サービスの向上に留意した施設提供を行っているか。	5	3(0.6)	3
	利用料金	公平性・平等性及び受益者負担について留意し利用料金の設定を行うとともに、利用者の利便性や利用サービスの向上を図っているか。	5	4(0.8)	4
	諸施設の活用と提供サービス	効果的な諸施設の活用及び提供サービス(飲料・補食品の販売を含む)の向上を図っているか。	5	3(0.6)	3
	個人情報保護や情報公開	個人情報の保護や情報の公開を適切に行っているか。	5	3(0.6)	3
	利用促進	施設の利用促進に向けた取り組みが成されているか。	5	4(0.8)	4
	人員配置	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備され、円滑な施設運営に必要な人員配置(資質・ローテーション等)を行っているか。	5	3(0.6)	3
	職員研修	各種研修等を行うなど、人員の資質の向上を図っているか。	5	4(0.8)	4
	危機管理	利用者の安全の確保及び有事の際の適切・迅速な対応のための危機管理体制がとられているか。	5	4(0.8)	4
	(評価の理由)	<p>◇利用券の現金購入の不便さを解消するためのチャージカードの導入や1回分お得な回数券の設定、屋外施設の天候不良時の無料キャンセル、照明の時間点灯など、天候や利用者のニーズに臨機応変に対応し、利便性及びサービス向上の取組を行っている。</p> <p>◇利用者数は前年比98%と昨年度に続き減少。テニスコートについて教室の回数を減らし、個人利用の枠を増やしたことが影響した。広報活動として、近隣小学校や老人いこいの家、民間施設などに広報チラシを配布しているほか、FacebookやTwitterによる情報発信、ホームページをスマートフォン対応やリニューアルするなど、広報を強化し利用促進に努めてことは評価できる。</p> <p>◇職員を対象とした火災や地震を想定した避難訓練、不審者対策の防犯訓練、プールでの事故を想定した救助訓練、急病人等の対応としての救命講習会、Jアラート訓練、接遇研修の受講を定期的・継続的に実施し、職員の資質及び技能向上に努めている。</p> <p>◇ジャグジープールにおけるレジオネラ菌が検出されたことについて、再発防止等について、水の全換水を週1回から毎日実施に変更するなど、速やかに対応した。</p>			

事業実施状況	施設利用提供業務	生涯スポーツ振興を図るための施設利用提供を行っているか。	5	4(0.8)	4
	個人開放事業	生涯スポーツ振興を図るための個人開放事業(トレーニング室を含む)を実施しているか。	5	4(0.8)	4
	教室等事業	生涯スポーツ振興を図るためのスポーツ教室やイベント等事業を実施しているか。	5	4(0.8)	4
	スポーツ情報提供及び相談業務	生涯スポーツ振興を図るための情報の提供及び相談業務等を行なっているか。	5	3(0.6)	3
	指導者・ボランティアの育成	地域スポーツ指導者の育成やボランティア等の育成のための事業を実施しているか。	5	3(0.6)	3
	総合型地域スポーツクラブの支援	総合型地域スポーツクラブの活動支援を行っているか。	5	3(0.6)	3
	自主事業に関する事項	利便性やサービスの向上のための自主事業等を実施しているか。	5	4(0.8)	4
(評価の理由)					
<p>◇6回目となる「多摩区スポーツフェスタ」の開催にあたっては、実行委員会において内容検討から参加し、施設の提供に留まることなく、メイン会場としての運営や担当開催種目を11種目から14種目に増やすなど、第1回の開催から円滑な事業の実施に多大な貢献をしていることは高く評価できる。</p> <p>◇トレーニング室の運営事業については、利用者が延べ69,119人(前年比100.5%)と増加、機器の日頃のメンテナンスの徹底や30年度も新たな機器を入れるなど、利用者満足度の向上に取り組んでいる。</p> <p>◇スポーツ教室事業については、短期及び特別事業も含め、幼児から高齢者、障害者などを対象とした幅広い教室(約60種目)の企画運営がされていること、人気教室の増設や土曜日開催教室の開講、高齢者に好評である「転倒防止体操教室(ちょきん運動)」等、利用者ニーズに応える内容を提供しており、受講者が延べ72,000人(前年比95.7%)と前年度並みで推移している。</p> <p>◇小田急線生田駅とJR南武線中野島駅・京王線稲田堤駅を結ぶ2ルートの巡回バスを運行している。平成24年度から中野島駅ルートに京王線稲田堤駅前をルートに加えるなどの変更を行った。利用者が延べ5,778人(前年比90%)となったが、駐車場の時刻表を見やすく張り替えをするなど、利用者の利便性向上に継続して取り組んでいる。</p>					
収支状況	安定性	収支計画に基づく安定した運営を行っているか。	5	4(0.8)	4
	効率性	サービスの維持・向上に留意した上で効果的・効率的な予算執行が図られているか。	5	3(0.6)	3
	(評価の理由)				
<p>◇利用者(前年比98%)は減少したが、団体利用、スポーツデー、チャージカード・回数券の収入が増加し、指定管理委託費を除く収入としては約1,148千円の増収に繋がっている。</p> <p>◇収支において、開館以来継続して計画的に安定した運営が行われており、今後も同様に安定した経営が見込まれる。</p>					

4. 総合評価

評価点合計	70	評価ランク	B
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>今回の事業評価は9年次目の評価となるが、平成22年度は屋外施設のみでの運営であり、屋内施設を含めた運営は平成23年度からとなっている。</p> <p>施設の運営に関しては、公の施設としての理念を尊重し、社会体育施設としての役割を果たすように努めていると評価する。</p> <p>平成30年度の利用者数は457,640人と平成29年度に比べ8,895人減少(前年比98%)となったが、トレーニング利用者は前年比100.5%の増、スポーツデイ利用者は前年比104.8%の増となったほか、2020年のオリンピック・パラリンピックを見据えて、障害者のプール利用者は、5,243人(前年比110.5%)と増加するなど、全体的には開館から順調に運営されており、これまでの利用促進に向けた取組の成果として評価する。全体的には開館から順調に運営されており、これまでの利用促進に向けた取組の成果として評価する。</p> <p>評価内容としては次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のスポーツ振興を担う施設としてスポーツ活動の場を提供するとともに、スポーツ教室事業については、短期及び特別事業も含め、幼児から高齢者、障害者などを対象とした幅広い教室(約60種目)の企画運営がされていること、人気教室の増設や土曜日開催教室の開講、高齢者に好評である「転倒防止体操教室(ちょきん運動)」等、利用者ニーズに応える内容を提供しており、積極的な事業展開を図っていることから幅広い年齢層の教室受講者の増加に繋がっている。 ・6回目となる「多摩区スポーツフェスタ」の開催にあたっては、実行委員会において内容検討から参加し、施設の提供に留まることなく、メイン会場としての運営や担当開催種目の実施(14種目)等、第1回の開催から円滑な事業の実施に多大な貢献をしている。 ・職員を対象とした火災や地震を想定した避難訓練、不審者対策の防犯訓練、プールでの事故を想定した救助訓練、急病人等の対応としての救命講習会、Jアラート訓練、接遇研修の受講を定期的・継続的に実施し、職員の資質及び技能向上に努めている。 ・自由提案事業として、開館以降巡回バスを運行しており、継続して利便性やサービスの向上を図り、利用者へ配慮した施設運営に努めている。 ・近隣小学校の水泳授業に施設を提供し、学校と連携して施設の有効活用を図るなど、地域との連携に努めている。 ・温水プールの水抜き清掃に合わせて着衣泳体験と救助講習会を実施するなど施設を生かした研修会等を毎年実施している。 ・利用促進のために、近隣小学校や老人いこいの家、民間施設などにチラシを配布しているほか、FacebookやTwitterによる情報発信、ホームページをスマートフォン対応やリニューアルするなど、広報を強化している。
--

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<p>市民の誰もが地域で気軽にスポーツを楽しめるスポーツの拠点として、スポーツを通じてのまちづくりと、市民の健康、体力の維持・増進やスポーツ事業の推進、生涯スポーツの振興を図るよう、これまで同様に努めること。</p> <p>また、公平で平等な利用の確保と経済性にも留意しながら、公共性と効率性の両立を目指すよう努め、サービス水準の向上と効率的な管理運営に引き続き努めること。特にジャグジープールにおける衛生管理については、関係法令や基準等を遵守した上で、より積極的な衛生管理に努めること。</p> <p>利用者数は前年度に引き続き減少。団体での利用者数が減ったこととテニスコートについて教室の回数を減らし、個人利用の枠を増やしたことが影響した。今後の取組を検討するため、利用者アンケートなどを内容や時期を精査して実施し、その結果や意見等を的確に分析して原因を把握し、利用者ニーズの把握に努め、提供するサービス水準の向上に取り組むこと。また、日頃の施設メンテナンスにも重点を置き、施設利用に支障が出ないよう、利用者の安全を最優先とした施設の運営・維持管理を行うこと。</p> <p>着実に地域のスポーツ施設として認知されてきていることから、今後においても施設外に目を向け、地域活動への貢献や施設のPR活動に積極的に取り組むこと。</p> <p>平成29年度にリニューアルしたホームページについては、駐車場が混雑する日の情報など利用者役に役立つ情報を随時更新すること。また、FacebookやTwitterについては、迅速な情報提供と利用促進を目的として、それぞれの特性を活かして効果的に活用するように努めること。</p>
